

【児童への話】

5月も中旬に入りました。今学期が始まって1か月、休み時間に校長室に遊びに来てくれる子がたくさんいます。楽しそうに遊んでいる皆さんを見ると、校長先生はとても嬉しいです。

さて、5月は日本の古い言い方で「皐月（さつき）」です。もとは、農作物をつくる作業のことを「さ」というひと文字の言葉で表していたことと、お米作りが始まる月であることを合わせて、皐月という名前になりました。また、5月を英語で言うと「May（メイ）」ですね。アニメ映画の「となりのトトロ」に出てくる姉妹は さつきちゃん と めいちゃん ですので、ふたりともこの5月を意味する名前になっています。この映画は、家族のお引越しの場面から始まり、田植えをする人々が描かれていて、5月が強く印象に残る、校長先生が大好きな映画です。

今、5月（皐月）の名前の由来をお話ししましたが、自分が「なんでだろう」「不思議だな」と思うことは、自分から積極的に調べてみてください。疑問をもってよく考える子は、ものの見方の幅が広がり、どんどんかしこくなっていきます。一日ひとつ、かしこくなって学校から帰って行ってくださいね。今日から運動会の全校練習が始まります。たくさん練習して自分が楽しい運動会に、そして、おうちの方が皆さんを見て嬉しいと感じられる運動会にしてください。

【本講話について】

新宿区という都心でありながら、この落五小には豊かな自然があり、四季の美しい変化が感じ取れるすばらしい環境です。妙正寺川の川面の反射や校庭の周りの木々の新緑が目にも美しい、ステキな季節です。新年度開始から1か月が過ぎ、子どもたちは日々頑張っています。

今日は、皐月という名の由来について子どもたちに話しました。言葉を知るとは世界を知り、広げることにつながります。自分のもつ「なぜ？」の疑問を主体的に追究しようとする、「進んで考える子」の育成を目指し、指導を続けます。